

英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	英語 5 0 9 ・ 5 1 0 6 0 9	A 4 262	令和 5 年 (16冊)
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	英語 5 1 1 ・ 5 1 2 6 1 1 ・ 6 1 2	A 4 344	
15	三省堂	三省堂 ◆	英語 5 1 3 ・ 5 1 4 6 1 3	A 4 ※ 514のみAB 294	
17	教育出版	教 出 ◆	英語 5 1 5 6 1 5	A B 280	
38	光村図書	光 村 ◆	英語 5 1 6 6 1 6	A B 298	
61	新興出版社 啓林館	啓林館 ◆	英語 5 1 7 6 1 7	A 4 304	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校 種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
児童の実態 観点	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
内容の取扱い等	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。
	2 障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの
構成上の工夫	①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。

小学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東 書	開隆堂	三省堂
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	128	163	82
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	57	47	63
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	118	143	91
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	16	52
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	95	106	54
	チャンツ・歌の数	40	53	49
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第5学年)		685	
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第6学年)		705	
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(共通)	644		665
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	26箇所 ①6年「Let's see the world.」では、行きたい国の魅力を紹介するカードを作る活動があり、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P42-43) ②5年「Can you play dodgeball?」では、様々な国のジェスチャーを見て意味を予想したり、日本とアメリカの手話の違いを考えたりする活動がある。(P34)	30箇所 ①5年「My Hero」では自分のヒーローについて、伝えることを整理するために構想図を作成する活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P102) ②6年「My Dream」では、さまざまな職業をジェスチャーで伝え合う活動があり、手話表現と関連付けて学習できる。(P88)	20箇所 ①6年「We had the sports day in October.」では、巻末カードを用いて6年間の思い出アルバムを作る活動があり、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P73) ②5年「She can bake cookies.」では、友達のジェスチャーを見て何の職業かを当てる活動があり、手話表現と関連付けて学習できる。(P67)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	120箇所 ①5年「Who is this?」では、音声を聞いてアクセントの位置を見付ける活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P48-49) ②6年「My Daily Schedule」では、友達と週末の行動について話し合う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P18-19)	151箇所 ①6年「Where do you want to go?」では、さまざまな国に関する英語を聞き取り、聞こえた順番を記入する活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P60-61) ②5年「What would you like?」では、店員と客の役に分かれ、料理や味、値段などを尋ねたり答えたりする活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P75)	118箇所 ①6年「We have Children's Day in May」では、発表を聞きながら英文の文字を追う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P30) ②5年「My name is Jun.」では、友達と誕生日を尋ね合っており、取り扱う際に配慮を要する。(P17)	
構成上の工夫 障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①6年「Let's go time traveling!」では、日本と世界の歴史の主な出来事がイラストや単語とともに歴史年表で示してある。(P56-57) ②各Unitの冒頭に、学習の目標が色付きの地のの上に示してある。(5年P9、19など)	①6年「What time do you get up?」では、登場人物の1日の生活が、時間軸に沿って写真と英文で示してある。(P34-35) ②各Lessonの冒頭に、学習の目標が、記号と背景色を付けて示してある。(5年P15など)	①5年「Hello, world!」では、世界の様々なスポーツが、写真とともに紹介してある。(P50-51) ②各Lessonの冒頭に学習の目標が、最後に振り返りができる記述が、記号とキャラクターのイラストとともに示してある。(6年P13、19など)	
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	なし

小学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

発行者		教 出	光 村	啓林館
	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	45	128	189
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	21	57	41
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	35	97	54
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	17	38	42
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	22	50	42
	チャンツ・歌の数	41	61	63
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第5学年)	199	390	671
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第6学年)	192	389	725
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(共通)			
	内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	29箇所 ①6年「My town is wonderful.」では、自分たちの町のおすすめの場所を紹介するワークシートで観光マップを作成する活動があり、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P26-27) ②5年「Let's Look at the World ②」では、アメリカの手話が示しており、聴覚障害の理解につながる内容である。(P87)	26箇所 ①5年「Alphabet Time2」では、迷路上の小文字をアルファベット順にたどる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P34-35) ①6年「言葉について考えよう3」では、グループでの話し合いの例としてジェスチャーに関する記述があり、手話表現と関連付けて学習できる。(P82)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。		125箇所 ①5年「I have P.E. on Monday.」では、英語とカタカナ語の違いに気を付けて音声を聞く活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P38) ②6年「What do you want to be?」では、将来就きたい職業について友達と尋ね合う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P83)	132箇所 ①6年「My Dream」では、部活動に関する会話を聞きとり、内容に即した人物、部活動、教科を線で結ぶ活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P76) ②5年「まとめ You can do it! 1」では、1分間、好きなテーマで相手と会話をする活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P48-49)	133箇所 ①5年「This is my sister.」では、最初の音に注意して音声を聞き、最初の音が他と違う写真を選ぶ活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P65) ②6年「Welcome to Japan.」では、季節ごとに外国の人が日本で楽しめるものをグループで話し合う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P29)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①6年「My Summer Vacation」では、日本語と英語の語順の違いを色付きの枠囲みで視覚的に示してある。(P46) ②各Lessonの最後に、学習の振り返りが、色付きの枠囲みで示してある。(5年P19など)	①6年「世界の友達3」では、海外の友達の生活の様子などが、写真とともに単語や日本語で示してある。(P92-93) ②各Unitの最初に背景色を付けて学習の目標が、最後に学習の振り返りができる記述が枠囲みで示してある。(5年P17、23など)	①各Unitの最後に「Did you know?」として、テーマに関連する写真や文字が示してあり、各課の内容を視覚的に補足している。(5年P20など) ②各Unitの冒頭に、背景色を付けて学習の目標が示してあり、各Unit末には「Look Back」として学習の振り返りが枠囲みで示してある。(6年P15、22など)
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし	なし
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	なし

小学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東 書	開隆堂	三省堂
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	128	163	82
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	57	47	63
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	118	143	91
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	18	16	52
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	95	106	54
	チャンツ・歌の数	40	53	49
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第5学年)		685	
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第6学年)		705	
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(共通)	644		665
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	20箇所 ①5年「Happy birthday!」では、友達とプレゼントカードを送り合う活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P23) ②6年「発信！わたしのニュースあれこれ」では、車いすに乗った子供がタブレットを用いて発表する写真があり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P36)	18箇所 ①6年「This is me.」では、自分の好きなことや得意なことを紹介する活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P20) ②5年「I can draw pictures well.」では、ポッチャの写真があり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P58)	22箇所 ①6年「I went to the beach.」では、夏休みをどんな風に過ごしたかを友達と伝え合う活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P51) ②5年「あこがれの人を紹介しよう」では、車いすテニスの選手の写真があり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P40)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	28箇所 ①6年「Save the animals.」では、音声で聞いたことを、教科書の絵を見て線で結ぶ活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P62) ②5年「Sound and Letters」では、英語のアクセントを意識して発音する活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P48-49)	78箇所 ①5年「Let's Check 1」では、4線上に単語を書く活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P46) ②6年「Where do you want to go?」では、文中の太文字の単語を強く言うことが示しており、取り扱う際に配慮を要する。(P65)	53箇所 ①5年「I want to go Kenya.」では、単語の最初の文字を四角い枠内に書く活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P102) ②6年「ABC Fun Box 2」では、文の中で色のついた単語を強く言う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P53)	
構成上の工夫 障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①各Unitの冒頭に学習の目標を示し、Unit内の各セクションの最後には学習を振り返る活動が枠囲みで示してある(6年P7、P9など) ②5年「Welcome to Japan!」では、日本の観光地について、大きな写真で視覚的に示してある。(P74-75)	①各Lessonの冒頭に学習の目標を示し、巻末には「CAN-DO CHECK」として、各Lessonの学習を振り返る活動が示してある。(6年P15、128など) ②5年「Our World」の「いろいろなスポーツ」では、世界各地で人々に親しまれているスポーツについて、写真や地図で視覚的に示している。(P110-111)	①各Lessonの冒頭に学習の目標を示し、Lessonの最後には学習を振り返る活動が背景色を付けて示してある。(5年P13、19など) ②5年「Hello, World!」では、世界のいろいろなスポーツについて、写真で視覚的に示してある。(P50-51)	
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	なし

小学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		教 出	光 村	啓林館
内 容	「聞くこと」の領域に設定されている活動の数	45	128	189
	「読むこと」の領域に設定されている活動の数	21	57	41
	「話すこと[やり取り]」の領域に設定されている活動の数	35	97	54
	「話すこと[発表]」の領域に設定されている活動の数	17	38	42
	「書くこと」の領域に設定されている活動の数	22	50	42
	チャンツ・歌の数	41	61	63
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第5学年)	199	390	671
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(第6学年)	192	389	725
	巻末又は別冊の語彙リストに掲載されている語の数(共通)			
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	30箇所 ①5年「My Hero, My Dream Friend」では、憧れの人や友達になってみたい人を紹介する活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P105) ②6年「My town is wonderful.」では、車いすに乗った子供が学習に取り組むイラストがあり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P26-27)	24箇所 ①6年「My Best Memory」では、小学校生活の思い出を発表する活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P91) ②5年「My hero is my brother.」では、車いすバスケットボールの選手のイラストがあり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P58)	13箇所 ①5年「I have math on Monday.」では、オリジナルの教科を入れた時間割りを考えて発表し合う活動があり、学習内容がイメージしやすい。(P19) ②6年「We need a big park in our town.」では、町で見かけるユニバーサルデザインの例として、車いす利用者が使いやすい自動販売機の写像があり、児童にとって興味をもちやすい内容である。(P44)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	56箇所 ①6年「My Summer Vacation」では、音声で聞いたことを、教科書の写像や絵を見て線で結ぶ活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P44) ②各Lessonの最後に、文の中で強く読むところや文末の上がり下がりを聞き、そのとおりに言う活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(5年P51、P75など)	82箇所 ①6年「What time do you get up?」では、枠内に時刻の数字を記入する活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P34) ②ページ下部に、文の中で強く読む部分や音の上げ下げを意識して発音する活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(5年P38、P40など)	94箇所 ①5年「Where's the cat?」では、音声を聞きながら地図上の道を指でたどる活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(P82-83) ②各Unitに「Chant」として、リズムに合わせて英語の文章を読む活動があり、取り扱う際に配慮を要する。(6年P17など)	
構成上の工夫 障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとめが記されていたりするもの。 ②外出等による社会的経験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①各Lessonの冒頭に学習の目標を示し、Lessonの最後には枠囲みで学習を振り返る活動が示してある。(6年P11、19など) ②5年「Where do you want to go?」では、日本の地域図とともに各地の名所や名物が、写真やイラストで視覚的に示してある。(P66-69)	①各Unitの冒頭に学習の目標を示し、Unitの最後には枠囲みで学習を振り返る活動が示してある。(5年P17、P23など) ②6年「I want to go to Italy.」では、世界各地の代表的な食べ物や動物、名所の写像が国旗とともに示してある。(P62-63)	①各Unitの最後に「Look Back」として、学習を振り返る活動が枠囲みで示してある。(5年P20など) ②6年「Welcome to Japan.」では、見開きで日本地図とともに各地の名所などについて、写真やイラストで視覚的に示している。(6年P24-26)	
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし	なし
	障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	なし

デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名(学年)	a 拡大機能	b 音声機能 ※1	c 動画機能 ※2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東書	Unit 1 This is me!(6年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ※3 ・読み上げ機能有 ※4
開隆堂	Lesson 5 Where is the station?(5年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
三省堂	Lesson 1 My name is Jun.(5年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・英文の読み上げている部分がマーカーで示されていく機能有
教出	Lesson 7 I'd like pizza.(5年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・録音・再生機能有 ※5
光村	Unit 5 My hero is my brother.(5年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
啓林館	Unit 2 Welcome to Japan.(6年)	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有

※1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。

※2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。

※3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択(タッチ)すると、その単語・文のみを再生する機能である。

※4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章(日本語、英語を含む。)を、音声で読み上げる機能のことである。

※5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。